

村雨の 露もまだひぬ まきの葉に

霧たちのぼる 秋の夕暮れ

難波江の 葦のかりねの ひとよゆゑ

みをつくしてや 恋ひわたるべき

見せばなや 雄島のあまの 袖だにも

ぬれにぞぬれし 色はかはらず